

基本的な考え方

1. 利用者へより良い環境を提供
 - ・ 利用者がより良い環境の下で、必要とする障害福祉サービスを安全かつ安心して受けられる。
2. 県内知的障害者支援の中核的施設
 - ・ 本県課題に対応した知的障害者支援の中核的な施設としての役割を担う。

基本方針

1. 現利用者の入所を維持
 - ・ 入所希望者及びご家族の意向を十分尊重する。
2. 施設利用者の自立生活支援
 - ・ 地域住民との交流を深め、施設利用者の自立生活を支援する。
3. 高齢化・重度化へ対応
 - ・ 医療的ケアや強度行動障害支援などの支援ニーズにも対応していく。
4. 社会資源等との連携
 - ・ 県内全域の社会的資源や民間事業者等との連携を強化する。

整備方針

1. 施設の機能：入所者の障害重度化、高齢化や全県域の重度障害に対応

①施設全体

- 利便性、機能性の高い施設
- 耐震性を確保し、災害に強い施設

②生活環境

- 入所者の利便性、プライバシーに配慮した施設
- 障害特性や障害の程度に応じ、安心した生活を送る居住空間

③支援環境

- 介護、医療的ケアに一定程度対応可能な施設（医療機関との連携）
- 強度行動障害を有する入所者に特化した施設

④中核的機能

- 他の民間施設で支援が困難となった強度行動障害を有する者を一時的に受入れ集中的支援
- 状態の悪化等で地域生活が困難になった者の緊急短期入所

⑤モデル性等

- ICT機器やロボット技術を積極的に活用した先進的・モデル的な施設
- 衛生面での配慮による感染症予防、感染拡大抑制

2. 整備場所：市街地への移転改築

①立地場所

- 入所者の自立生活を支援できる立地場所を確保
- 防災の観点や維持管理のコストを考慮し高い交通の利便性を確保

②医療連携

- 入所者の治療、搬送・移動など医療連携が図りやすい施設

③地域交流

- 基幹相談支援センターと連携し地域生活への移行を支援
- 地域交流、地域活動の受け入れができる施設

④経済性等

- 施設の耐久化、長寿命化、環境負荷の低減に配慮

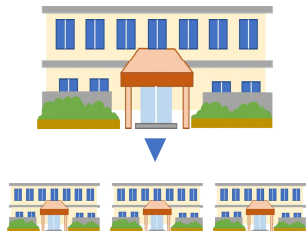
3. 整備形態：分散設置とする

①利用者主体

- 入所者等の意向も配慮しながら、家族や支援者が訪問しやすい地域を候補
- GH等での生活維持が難しくなった方の再入所支援が可能となる施設

②持続可能性

- 将来的な入所定員減少を見据え持続的な運営が可能な施設
- そのため1施設当たり入所定員は最大でも100人程度
- コロニーの歴史的経緯や支援人材の継続性による効率的な運営を考慮



求められる役割・機能

A) 基本的な機能

- ① 日中活動サービス及び短期入所の提供（関係機関との連携）
- ② 施設入所支援サービスの提供（入所者の生活の質向上）

B) 新たな役割・機能

役割【機能】（案）

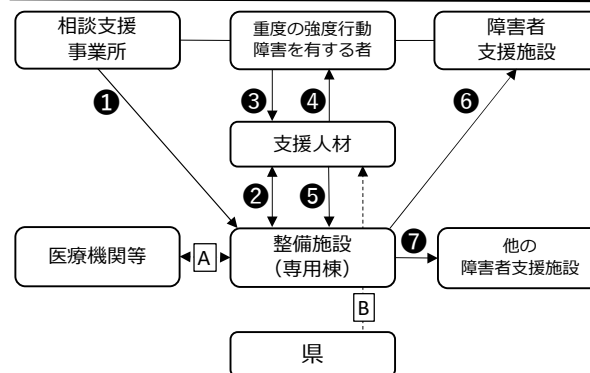
取組の概要

1. 重度障害者のセーフティネット
【施設入所支援機能】
 - ・ 地域の支援体制では対応が困難な重度障害者を受入（施設入所支援）
2. 他の障害者支援施設等のバックアップ
【地域生活支援拠点等機能】
 - ・ 他の民間施設で行動障害の悪化した者へ通過型の集中的支援（施設入所支援）
 - ・ 地域の支援体制で対応が難しくなった障害者の支援（緊急短期入所）
3. 社会資源のコーディネート
【県全域の障害福祉拠点機能】
 - ・ 地域社会資源との連携、情報共有による支援体制底上げ
→「民間連携体制検討会（仮称）」活用
 - ・ 重度知的障害、強度行動障害への対応に係る技術支援、人材育成（長期）

集中的支援

スキーム例

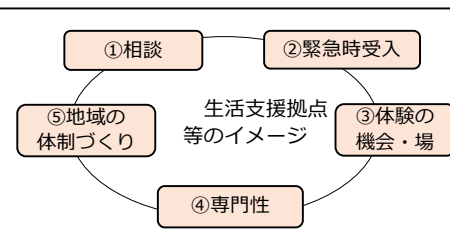
支援の概要（案）



- ① 受入打診
 - ② 調整・受入
 - ③ 一時入所
 - ④ 集中的支援
 - ⑤ 実績の蓄積
 - ⑥ 支援方法引継
 - ⑦ 研修・技術支援
- A 協力・連携
B 研修・広域的支援人材の配置等

緊急短期入所

イメージ（地域生活支援拠点等の受け皿として実施する）



機能	緊急受入に係る対応例
①	・ 平時の調整（事前登録）
②	・ 状態変化による緊急時受入 ・ 医療機関への連絡等
④	・ 専門人材の育成